

# 二人だけの劇場セザンヌ 42周年 特別招待公演

地の底で働き、石炭を掘り続け日本の近代産業を  
底辺で支えてきた男と女の物語り

## 第一部

### トークセッション；井手川泰子

井手川泰子 / 鞍手町住民として、元女坑夫であった老女たちから 20 年にわたり聞き書きを続け、その記録をまとめた「新・火を産んだ母たち」(海鳥社)の著作者。  
2021年、西日本文化賞受賞。

## 第二部

### 一人芝居「火を産んだ母たち」 作：井手川泰子

脚色・出演：遠藤久仁子

明治・大正・昭和の時代。

筑豊地方の地の底で、明日の命もわからない過酷な労働状況下。  
石炭を掘り続けた女坑夫たち...

「産んだ子は育てなならん、掘った石炭は積まなならん」  
極貧の中、身体一つで故郷を離れて集まった女たち。  
彼女らを救ったのは、分かち合う心であった。

(友情出演：山本道子・井坂洋子・八尋きよ子)



## 第三部

### 劇団やしゃぶし 現代狂言「穴」

作：ふじたあさや (上野英信 著「追われゆく坑夫たち」より)

演出：隅田知明

出演：シテ 潰れ炭鉱の坑夫 1 野口和夫  
アド 潰れ炭鉱の坑夫 2 本松陽子  
アド 潰れ炭鉱の坑夫 3 藤島可利  
アド 地主の大旦那 中野大樹

「彼らはほんとうに地主をだましたのだろうか、  
彼らが掘りだしたのはほんとうに  
赤土や石ころであったであろうか……」

炭坑が次々と閉山に追い込まれていく時代。強欲地主と明日の飯にも  
事欠く坑夫たちの、絶妙な、そして生きるためのだまし手口とは...

日時

2024年 10月 12日(土) PM 6:00 ~ 開演

10月 13日(日) AM 12:00 ~ / PM 5:00 ~ 開演

会場

セザンヌアトリエ (南図書館向)

上演時間 130分 (開場は開演 30分前)

アクセスルート:「京都駅」八条東改札口より南へ徒歩8分、地下鉄「九条駅」より徒歩3分、Books ENDO 2F

入場料 (前売・当日共); 一般・シニア 2000円 / 学生 1000円 / 小~高校生 500円